



古今傳



古今和歌集之詠大書

二條家
宗祇分
ツカサ
三ヶ分



ツカサニノ木ノ事家ノ詠二千

二千ヤアルカ云 帝御即位時ニカ

サハノ松抄ツカサニノ木ニ寸ニハリ事

ケツリテオホキ守ツトニ書テハカ

ケサセニイラスル所仁ニ于彼御

守ツ種ノ所カラスニテテ帝ノ

生ニ氣ノ方ノ玉ニツムナリハ木ヲ

御歌ノ玉ノヒトニトト

向家ニ然スラカ玉ノ木ト典

け野ノニカリニ云ツ付テテ

ニツルトニハト云木ナリコト傳ナリ

更記事ツユルスヘカラスト

ニ
メトノケツリ花ノ事
メトハ事ナノコトナリ種スノ

花ツチツリキツニトニカサシ
サスナリノ傳ナリ 又曰著
ト草ヤ 又曰右巡馬場ノヒツリ
ノ白ニユミノ手健ノカサニニサス
花トモイ(リ)

三 カハナクサノ事

六カキモモ
未書由

是ニアニクメノ既アリ或ヒト
云テ或カハニトリ或カハメテ
或ハシモメカトク

何骨ト申テヤヤ傳ナリ記ト
ツ先ヘカラス

四 皇太事

六カキモモ皇太事ト

御領玉木

内侍西

賀和嫁

廣和鈿

妻ケケツリ花

神幽

五 三鳥之本事

六カキモモ

一ヨフコトリノ事一祝サル一祝ハコ
トリヨフコトヤニトヤヤツナリ

二ヘニストイ(リ)又ハツセトト
リ春ノ山野ニニニニカチワラ

ニ風情トリアツメテカハルサニカ
ツヨフ故ニカクストイ(リ)又ツ

トリトモアリツリシ家ノ傳トス

一イナオモセトトリノ事家ノ種
ハノ既アレトモ傳ニハタキツ

一ヨクシノ事ヤトモトモ家ノ口
傳ツクヒスニカキラス種人ノ若

ハオナニニサツルヲ百千約トモ
六 吉野ノ心ノ事

表書
又曰傳

い集ニサレウリマア撰者ヲモテ
云ハカラス其ト對メ書ニ由何ノ
クハアリキハ不實アルキコトナリ
南家侍 文書天白星野心
ハ水院ノトキハトモニアリチルハ
白クニクシクサニリマツルハコノモ
カノモノ撰ナリトナリトモ 又説
ハ氏子又ハ氏トリニカチテモ
心ノモノヨソメハトモト相梅ニ
死

凡躰傳 表書凡躰之事

ハ久毛立 伊三ノムル 奇明石浦
抄紙時泰 天切麻乃書心
ヲ去者理ニ他此凡
斗ハルヤモウカ
半日ノリ乃モウカ

今ヤンニシクマ

いお三代字函撰集之自三
又入撰集仙神ハウ等也

天地人ノウノ事 表書 三才之事

一久カタノアミニハトハ天トノコトナリ
石思娘ハ天雅彦ノ妻ナリノアミカ
トハ崩信ノ時衣裳屋ヲ天ニツクリチ
モカリスニクヒメノセソト味推彦
根ノ赤トクジトキ 天ニノキリチ
アリケルニソノ取フルハシクニテ
岳トニソ岳トノアヒタニ思カヤシ
フニチ下思娘ハコトク人ニシラニ
メントチノウヨミメ白

阿妹奈屋夜ワトクナハクメノウカ
セルメニノミスニルノアチクニハヤ
ニラメワタスアチスキクカヒコ子

西多白アニサカレヒルツメノイフ
タラスニシトイシカハカメツキカメ
ウケニアハツワタシニヨコシヨコ
コツイシカハフメリナヒヨコト
一氏ニナクモト出テ國ニ宮作メ
ヨミタニフツクノオヤシセタツノ
一人世トナリチハシクノヨコトノ
ニナニ字ノクフ用ヨムトナリカ
ナ序ニテハゴトハリニニクニ水
ノ侍天世人ノ多クハナリ

九
ホノクノ多クノ事

はろニサシクハナクニ侍スル
ナリカトモ骨之振ノ部ニメナリ
更ハハシクハハコトセシ井ナ
今シクメツ 天武天皇カ
皇子高市ノ皇子十九歳ニメセシ

早シクワヨメルヲトナシホクト云ニ
ノ我アリ 明君カ風ナリ 万葉ニツ
カホナリ 明ト云ハ夜ナトノ明ル云
左傳ニ 明且トカキテホクトヨメリ
若シホクトトナシハ本ノモアイ
ハナリ 曲ニ義撰云 洋奈未出春
を若クナリトイリハハツコ
文道ニツカフハシクニ 文集云
三云 政得之通ト云ヘリ 文集云
風道トイリハハツコハハナシ
ナクシクハハナシ 王子ノ崩ニツキナリ
浦トハハ世界ヲヘメテ初ニヨシメ
リ 吾又物ヲヘメツルナリナリ 既
キリク病ニアツルヨシカカリ初
トハ去初ニ又生老ニ病死ノ四ニモ
アツルヨシハハカクサシク毎ツク

皇太子母ヲ王ニタテヘリメリ王太子母
ニタカクヘカラスシカシハ毎ト云ヤリ
貞觀政変云君如舟臣如火トイ
フリ指人ノ沈トモアトモ不及筆
情云々

古ノ事ナリ
ウカキ口傳

伊は貞志森は如云在ノ今古
初河々々他人年以陰傳
三多智良蘇作古河依之
は可利在之

二重之重
ウカキ口傳

身仁邦字人
他仁急手与

奉授
今上白王帝 和号

神南日依
依傳言
上揚花云

和名三年十一月二十二日

他母之

私
古今傳受時言
之六平依二教

伊智女言
オカク書于依一教ニ
ニツニテノヤニ正

紅衣大明神
一通カクコトシ若ク
下ニカクノ所所若ク

玉付明神
又ウラニ直
一迎名所ノ下ニ
カク是奉ハ二通

折奉朝長
ニスノ事

他母之
守ノラニ代ノ人

所内傳
ツカク

一切名ノ事
一ツニカサ子チトノハシラ

トニメニニオル升子ツトル時ニヒラケハ

トハヒロクシハヤカチ上ツミル也

布ク書クソメテアサノツニチツカリ

スリシモスナリ
傳之又ノ巻抄
十二箇
十一箇
傳之又ノ巻抄

切依ノ口傳

一ツカガキノ事 竹打ノ事

多クツケルメチニルトトモカキセ
傳ナリトシラカキノ事トキ
多クツケルトモ故シノ事
トモチ故ハサカキニモ
ノ後ツケリノ事
黒玉トモカキ
時内侍トモカキ

多クツケルメチニルトトモカキセ

二ツトノ事

多クツケルメチニルトトモカキセ
ツケルメチニルトトモカキセ
多クツケルメチニルトトモカキセ
多クツケルメチニルトトモカキセ

三ツカガキノ事

多クツケルメチニルトトモカキセ
多クツケルメチニルトトモカキセ
多クツケルメチニルトトモカキセ

四ツカガキノ事

多クツケルメチニルトトモカキセ
多クツケルメチニルトトモカキセ
多クツケルメチニルトトモカキセ

内侍所 カニニ于ミニスニ直野中

正直

ノミラソナヘタルナリノ鏡ノ本
解ハ空ニ塵ニメ而モ体下象

ソナヘタリシ理ソナカクニ直ナル物

手ニ見エニ切ハ直ニヨリ起ラズル

ソノ大事トナシテ故

寶鏡

宝鏡ハナリノ鏡ハ本ノ本

天下信

一ノ本ニ鏡トシテ直ニカク
ナリトシテ信ハナリノ信

根奉テトスト

神策

玉ノ陰陽ハカクメ玉ト

慈悲

ナリシ世ニモ慈悲ナリ
トッサノ子トシテ中ノ

付玉ト釘トシテカクメニシテ中

ナリカクアリ陰陽ハ表ナリト

根奉テ得ルメトニテツリビメトハ本

ノハハナシハ陰形ニ比スニ切ニコソ根

奉トスケツリビハ男陽形ニ比スニサ

ハ陰陽ヲ表ナリ

信云ハニノ室スチハ門天下ヲクモチ

得ハハニモカケテハナリカスチモト

ニテハハニノ室トシテ故ニ直ト知討

トシテトニトシテニ室得ルチ

ニ摘暫ノヤヒイカニ一ノ室アリトモ

ソハナリニテハ天下ヲサカメシハニ

チソハニカケテ朝ニモ一思ヒト

ハ門心ニカケテ天下ヲ平ヤシメ

子陰ハツルキニチモルヤト

ニ箱ニオサメモハニカケラレ

天ヤウニサメハカナカチ君人

ニモ不ニ限ルハカクニモハニシテ

ハキニコソチト人トシテ世ニモ

一也故

五ニシテ事一ノ事ナリトシテ

一念ヲ自ル物ニ其一念トスハ

一、^カ此明の如くは明の如くは
 カラスはこれにオコル念の愛子とトは念
 ニヨヒクメサレハ多クも山中の深淵
 菊の大空を舞ふる如く又云これ
 逆さるトは各別ナリハサレ又サレハ
 クニモヒトシクキト、トリノミツカ
 ノモ、ハカサレ念ノヨヒクメスハ
 更ニ思ふせうし又サレハ、トクカ
 一念の縁的

一、蟻の如くは愛子とハ念オコル
 生イツネラストトイ、今ノ用タレ
 陰陽和合メ五大ヲ言メルハ、ト
 トナスラスマレシ書ニ、翁ノ云コト
 之ハ、何ナトトコトワサレハ、ト
 二相ハ、何ナトトコトワサレハ、ト

一、百千ヲ、サツトハ万物ノ形
 即スル多ク是は、世ノ位世同相
 多クハカレ、物ナリ又ハ、有待カ
 カナリ古又也、世界ハ、物ト云
 即ハ、多クはサレ、物ト云、如ハ、一
 アレシサテキキ、子ハ、子ト云、子ハ、子
 之物ノ自性、カハ、カト云、一思
 得ト、同ノ思也

六、六者、心、色、受、想、行、識、法
 何れも、心ト云、色ト云、受ト云、想ト云、行ト云、識ト云、法ト云、一
 何れも、心ト云、色ト云、受ト云、想ト云、行ト云、識ト云、法ト云、一
 何れも、心ト云、色ト云、受ト云、想ト云、行ト云、識ト云、法ト云、一

トクさじツトとタレモヤウノ一ノ得也
一ノ物事 凡物得也

ハテラウ是ハオス帝ニカキニ強ニホ
代ノ大強ニ

ホクトモハスコシフモコカメチカ
ヌメニテハ物ノコトツモ僅カトシテ

ハテラウ是ハオス帝ニカキニ強ニホ
代ノ大強ニ

リタリチヌメシタル世ノハニアラス
是
ハテラウ是ハオス帝ニカキニ強ニホ
代ノ大強ニ

梅ハオス帝ニカキニ強ニホ
代ノ大強ニ

サホ麻ノ事同 折む回極ノカサレ
モ多氣ニ感シタル云々

カロクニ強ニホ
代ノ大強ニ

之強ニホ
代ノ大強ニ

モ又ヤニ強ニホ
代ノ大強ニ

是ニヨリチヌメシタル世ノハニアラス
是

ハテラウ是ハオス帝ニカキニ強ニホ
代ノ大強ニ

本又ハク 是ハオス帝ニカキニ強ニホ
代ノ大強ニ

ハテラウ是ハオス帝ニカキニ強ニホ
代ノ大強ニ

ナカキ同ノ 是ハオス帝ニカキニ強ニホ
代ノ大強ニ

ヨリハカコシ
代ノ大強ニ

五ノヨリワケル也
代ノ大強ニ

人トハ 是ハオス帝ニカキニ強ニホ
代ノ大強ニ

ヨシヨリ凡物ノカキニ強ニホ
代ノ大強ニ

いひはかるは流し方おれにすよ
サレは四角ノ字ニハ殊ニカレシ

ハニオノ事一是又ゆき人ト云われ別
系れもく人世ト成テオキソサレ
ノホウアケタハ六部ヨクサニメタヒ
ノ起ルイリト云ニ身ニキヤニアラサレハ

九ホククノ事一 生^老病^死ニ合テ

下ニ月之満カレハハハノ外ニクキヤレ
トクハ(シ)別ハ流ラサレハ(シ)けしキホド
アカシトツケテ明周ラズリ(高)又明
約クズリ振ノアニカ 亦甚厚ノ如
シシキ世ノ振ツサニ此モキヤク女ニ
ニ流ヨシニカ

十方^流之^事一

イツクニキヤカオニメ流ノ人ウレ流ハ
イカニモニツクワニメ人ニ向流キニ
宝トナレトハ(シ)事一ニメ流ノ人ウレ
流ノ人(シ)事ナリ有カ宝ハ暫ノ如ニ
事一ニメ流ノ人ウレ天下流キニ
流ノ人(シ)事ナリ有カ宝ハ暫ノ如ニ
流ノ人(シ)事ナリ有カ宝ハ暫ノ如ニ
流ノ人(シ)事ナリ有カ宝ハ暫ノ如ニ
流ノ人(シ)事ナリ有カ宝ハ暫ノ如ニ
流ノ人(シ)事ナリ有カ宝ハ暫ノ如ニ

ハニオノ事一是又ゆき人ト云われ別
系れもく人世ト成テオキソサレ
ノホウアケタハ六部ヨクサニメタヒ
ノ起ルイリト云ニ身ニキヤニアラサレハ
九ホククノ事一 生^老病^死ニ合テ
下ニ月之満カレハハハノ外ニクキヤレ
トクハ(シ)別ハ流ラサレハ(シ)けしキホド
アカシトツケテ明周ラズリ(高)又明
約クズリ振ノアニカ 亦甚厚ノ如
シシキ世ノ振ツサニ此モキヤク女ニ
ニ流ヨシニカ
イツクニキヤカオニメ流ノ人ウレ流ハ
イカニモニツクワニメ人ニ向流キニ
宝トナレトハ(シ)事一ニメ流ノ人ウレ
流ノ人(シ)事ナリ有カ宝ハ暫ノ如ニ
事一ニメ流ノ人ウレ天下流キニ
流ノ人(シ)事ナリ有カ宝ハ暫ノ如ニ
流ノ人(シ)事ナリ有カ宝ハ暫ノ如ニ
流ノ人(シ)事ナリ有カ宝ハ暫ノ如ニ
流ノ人(シ)事ナリ有カ宝ハ暫ノ如ニ

じつと二人合り下の方長に留まると

三五聖の集り五聖に 是ヨリと

授け給はれし人丸文を二石授け

之りし是の如く昔之の如く

南白の如く授けし如く言上授け

之りしは、是の如く今に申也

授け 今授け之は

万葉の如く是の如く

今授け之は自乞起り

一五聖の如く

皇太后二年未切也

高直自力求直に調傳之方音綴

八通

一 号皇之傳 **今**

古文天皇 今 醍醐天皇

古 今 百代

古 今 向國

二 御賀玉木 **今**

は木之事 向附サレ木アリトモ

向授之ト云物也 又云一

又抄此本ニテ月本ノカ

傳ニ云物也

事 今

ト云

今

今

今

今

今

今

今

今

今

加和名種 ウカキ同本
けり字等之説名同シモナカラズ
加和骨 骨也 用葉せりニ似テ子并せし
けり事之始 記事

五 ウカキ同本之去

亦 天心

戸 シヒシノコ 是は
和 エウケン 活天下

六 ウカキ鳥又

けり ウカキ鳥又 是は
ミト ニウセアリ 是ヨリ ウカキ鳥又

ツ ト ウカキ鳥又 ツ ト

青 ウカキ鳥又 ヨ ウカキ鳥又

い ウカキ鳥又

七

けり ウカキ鳥又 是は
イ ナラ ませるハ ウカキ鳥又
ニ メト ハ ウカキ鳥又 是は

ヨ ウカキ鳥又 ウカキ鳥又
シ ウカキ鳥又 ウカキ鳥又
モ ウカキ鳥又 ウカキ鳥又
群 ウカキ鳥又 ウカキ鳥又

カ ウカキ鳥又 ウカキ鳥又
カ ウカキ鳥又 ウカキ鳥又
カ ウカキ鳥又 ウカキ鳥又

七 ウカキ鳥又

けり ウカキ鳥又 是は
い ウカキ鳥又 ウカキ鳥又
れ ウカキ鳥又 ウカキ鳥又

右部之事

分方キ云々之旨

貞躰

いづラニ鏡トカリシ

己

一高し書

子

移む用女ニ書キ

延長元年四月八日

母

私書

一書一通

又書一冊

在傳

又書一通 其主記内付作

此いづノ三好ノ月廿九日有

しし子キ云々云々云々云々

ナリ

前切書之内字様ハ三島ラニ通シメ

相傳し 衣流

姪名原

口傳ノトコロ 迄タキ

具之旨ヲ傳ニアリ

喚子

口傳ツトリ 呼群人ヲ白シメ

百千

口傳万ノ名ノ百ニシテ人ノ

云々

口傳ハ云々

口傳ハ云々

己

三島ノ事ノ傳

姪名原

三好王

蒙子子

周自

百子子

群臣

心

八十一事

傳受

傳 切勞 真書

但依人依此

心二口也

一書文人 二書 同是上古

三書五書 四書 自北代

六書天地 七書 志

古今集之事

初

文明三年八月十五日相傳說

傳受僧道平

從在一年多

文明六年四月十八日

古今集之說 卷八 僧

仁德 授平

仁德 文

八代集 下野守平

墨年之五集

古今傳受之事 之有子 師 心 所自 今人 心之 存 師 心 再 傳受 心 之 有 師 心 之 有

私曲の也 摺文あり 年号

日付未判

伊勢物致付受之事

亦其意志之漏流

右より有遠背より出る 摺文

先許ノ事 短冊

加ツアセトモナシトノセニモナシ

イニシハナラカメリテウキニ

任兼ルニニナルニ海らウカノ

花ノミエテ思ワスルナ

ソカカシカクハキノツメハケル

延久カメノ月ヲミヨキニ

伊勢物致之事

以有流之流授信之流カキ

高家三ノ付 頼朝之内

一 堀内原より和合ノ物ナシハ年ニトナ

王ハハ臣ノイタノ事ナハシ

ソト只ハサカレシ王又云

コスハ是ニ奉心ヨリノ事ナシ

一 堀内原より伊勢物致人ニ告教ル

ソ南白トイリ帝心ヲ性トメ

庶几下知ナクハ南白モ知

ナシトニ云云ナリ

一 百ノ事 同ノ事 同ノ事

ウナスカカク事ナシハ

一 花ツニトモ事ハ昔ツミ

ヒナノ事ナシトナラ

ヒナノ事ナシトナラ

今にいふ事今ハアは世に死す事ニテ
初にフ不痴人而ハ今も之を以て
子日漢所教化ハ初其生ヤリ云
モ、ニヤリニヤリニヤリトシテ
子ノサノムヒタルカカル又今身不
クハ、ハアト云フミ、ケ又世モクテ

一カソフシハ
一オトヲトヤ
一トシクシ

対意 是ハ今ノ表ツ云

今ヨアスヨトカソハ、丁トセ日月ハ
トニル事モチリノ子書眞夜ヲ任ニテ
老身トナルト云フコト年ヲ利トナ
スラヘタリト云フ事ト云ハ利ナリ
ケリト云

対賢

一切世多ノ徳之ハ今之念雖佳却
不二改ノ也、ハハチノ序ヲカラ
クモクニルヤツイシツメヒカラト云
ニハサモ思シ又事ヲイテ成スルハ初
ニ打ハチ、ハイタリテト云ク

一切唯方ハ心物ニヤリ
之等心之カカ
表年七同二

首、ハ別ニ書イ、ハハ
一対意ト云ハシカナルコトト云フニ
ハ思返ニテサトルハ、ハアト云フコ
一信之ハ今ノ却ツトモ之改トハ
何事モ此ヨリコトト思フコト
事ハ、ハアト云フコトト云フコトト云フ

一 元ハカラストハ悔過スニキヤノカニ

一 カフシトハコニサモ思ハヌ事ノイハル成
スルハ神也トハ人ノモトルコトコニサ
サトルコトハ又ハ傷シサレハヤ唯カ
ニキキルコトハ書読ハル也

一 一ニ有ルコトヨリ
其意ハコトカ
シ

一 一ニハサセル事ナシト云フ事ナシ

一 一身ニ三足ナトヤトハカヤ事ナラ
ノハトモト他流ノ信ニ三向此ニ
神ノ事ニ于テヤ事ナシ

一 一ニアリクニキナイ事一 何者ニウツ
中ツツツツツトナニ此ニ是ラニ
クリト云ハ内年々々々ノ事ナトメハシ
守ル又是ノミナラ又法人ノ教ラヤツ
カ大ニ事ナシ神ニ勝タリ又是ノ

ミナラヌハ生ツモヤク仙果共ニヤツ
イケラニ又此ノハニニ由ラアケチニ
タリトイハリ別業モ外奥ノ事モ由
内知ラ在ト云

一 一ニ思古神ニシキニ此ハヨレハ是則
ニ云ハル事ト申シテ此ニワカチリ滑ル
トツツ中ツツツツツツツツツツツ
者付而高貴古明神也是江花
別業也

一 一ニ有ルコトヨリ
三ニ有ルコトヨリ

一 一ニ有ルコトヨリ

一 一ニ有ルコトヨリ

一 一ニ有ルコトヨリ

ノ名手ノ長短方曰ノ形ヲナク
性名流不裁ノ雅

一画物ト云ハ皆曰トノ表事也

林ハ不寧愛ニメハ前ノ性名流ノ表
カツラハ詭物ニ是ハ言名流ノ名ニ
物

スソシクニ也(三)

世ト云ハ不遜を之ニ在事ニ云

物ハ憶持 物ヲ憶持スルト云ハ

物ヲヒツクメテ之作事ト云ハ水

ヲ汲テタニタルカニトキノ表ニ云ハ

取物ト云ハ十條ノ取物ヲトニナシ

ト四種ハ其ニ六奉タリ

一序ノ大事 唯受二人

夫良ノ心ノ事 魯之ハ平城ニ
書シ是ヲ定テ求能見セラルニシ

カワ事アリ故有テハ平城ハ云ハ

人丸ニエス人丸物現ハ文書ノ以テハ

文書ト付ラル其附ハ所ノ文書ト付先

西ハ言言ハ文書中ノ筆摺スト云

西ヲ野書ニ云ハ又云ハ百トセアリ

世ノ傳ラ文書ニタリナリ是所受

一人ノ大事也故ハ文書比人丸也生ニカ

筆摺白ニタシカニ魯之不意ハカチ

古ノノ書ハ其ノ筆摺タリ為ニ云ハ

二リニナス事ナハ

ト云ハナク 此ナシ于以付

百月是是南流ノ事也而白事

百年アリリ云ハ平城ニ付ラる

物カノ所ノ文書 是ヨリナキ野書

年ハ百年アリリ云ハ平城ト云ハ

魯之ハ平城ト云ハ云ハ

定家文書 聖書 能く集りて
一 松平千代門傳 直道心松直
在りて于エス理し 之を明かす
一 佐佐木家全の言 日神ノウケトナシ
一 大和ニシテ 比國アリシ國アリ
ト

一 三古今ノ事 一 松平ノ事
事し是モ古シノコトナリ
家ノ流ニ又一人アリ 通ト云ハ
由先王ノ道 而帝ノ道ニナリ
何モ曰テ 知し其ハ由今ノ事用
之 又云此書ニ其ノ至國ニテニ
テラ由今ノ事 内ニ又テ其ハ
ハニ 設スルコトニシテハ人
權トトモモソノコトニシテ下

ノ事アリト云人ノト云ニ云ニキ
以しむん下作し

一 短テノ事 一 其ノ事ナリ
一 董ラ受ル事有とむカノ事
トヤカカシテ可^受ル
一 ナノ事 物カ尾カ 言ラク中
ニ中ヨリ其ノ事ノ事ナリ
其物ナシハ是ラ之ニ 是ハ
升ニラ在ニ 是ハ 是ハ

一 年ノ内ニ 日シヤ中 二 年 一 年
千ヤフルノ事 是ハ由ラ事ト
之ハ事ニ 由ノイテ事ノ事
トヤカカシテ可^受ル
一 是ア女卷ハハ被ニマテ 教ラ

之ト多抄ハ大ノ事作シ又之ヲ
ツル事先定詔ニ事ト終ノ事ヲ
之ハ之ナカシテハ之ノハ之ハ之ヲ
之メヨリツリニテ定シトカラン
先ハ一モセシムラチノ事ニ
カ

ルロシサレシモニ女養子ニ
又云志ノ事ハ用ニトラス之ヲ
ツル事ハ之ヲ離ノ通用
一ツナモ水ノ事ニテ四時之思カ
知モ之人ノ事生ナラシ筆ノ事
ニアラスハ之有ハ由カク年ニ
ツナチモ水ノ陽ノ事ニヨリ中
陰ノ事ハ之ニ有ツ由カク
故實トモ由カク

ハ之ニハ之モタレシ事ニ種ノ事
ハ之ニハ之モ去ラズ事
一ツナカレハ之ハ衆生奉養ノ事
トモ物大五德ノ事ニテヨリ之ヲ
ハ之ニハ之境ニヨリ事ト思ハ
境トモ世界ノ事ニテ之ハ之ニ
ナキ事ハ一方生セセハ代々
是レ人ニトカレシヨリ事ト
モ由カク

ハ之ニハ之モ
地モ月カレシ事若クモ白王モ
物カラク事ハ之ハ之ニテ
モナシシモ物カラシム事
モ物カラク事トモ思ハレシ
思遠スモ又物カラク事ハ之ニ

アハル所の直る直らば一箇に
典^特直子ハ作者にト付久し九
う手モ直サト久し作えハ皆和土直
サチキカリキチヤノ思ハハハハハ
另ナレ工ヲメチニ思フ思アキマレ
ト

一曲待者子直る外長 只作し
カキス人ノ一事ニナキ中作志
深し如ク一人モけらニ守じ作志
一切生シ思ヒスル有ヨリテ直子
ト云ハ仙一切生シラハ子アハハ思
コセテ子ト云ト直ハ作志思
ト云ハ思ヒ付

一和トニ じ和トハ本分和ニテ字
カ又抑じけ和トニ移ラサトリコ
キ半肝の事と云フシラトヤ

送作ノ物来ル念ノコリニ天ノ
天ノ性氣ノ天ノ性ハ物ニアラハ
ハノ向垂ルモ云ハ天ノ氣ハ一氣
コレハク云フクハト云ハ是則陰
陽和合スルハカハニツクト云
知えけ云フ和云フハハハハハハ
ノ肝口ニ天ノ氣コリハハハハハ
ハハハハハハハハハハハハハハ

一眞^神解^事ニ事 眞^神解^事ト云フハ
歌メカリニ名付タリ実ニハ
ト云ハ是ハハハハハハハハハハ

心在之先院ニ天台ニ云ふ三諦所是ノ
付文アリ元來明西有辯相ニサキ方
象シラズ其假諦也有也ニニ後ト
而モニラシクハ元院ノ也其在中
宣稱ト云リ此ハ二字ニ云明西本
末

比レテ物ト云ルハ五世古井ノ部カ
カミハ此ノ中院ノ本事ト云フニ院
ト天竺古井ノカキ又其ニ云フニ
カミトハ此ノ中略メ云リト云フ
法林ノ言也後ト云ハ且ハ院ト云
レテノ言也ト云フ也
一 院院世院院相遠之條
一 一ノ人其考事ノ後方ノ事ハ元
位正三位又云ノ所ト云ハ云ナト云

後方ノ事

- 一 ^コノ^ヒ
- 一 ^三チリヒチチリイニチトヨム
- 一 ^四オコキノ事ニヨキトヨム
- 一 ^五ワカセラカカヤ雲雨ノ事ニ
イヒテアハカニ此
- 一 ^六ニトフニヨフト云ニヨリテ後ハシ
- 一 ^七ラレハシキコトト云ト云云子ニ云ハ
スミチヨム

- 一 ^九七月七日フツギムエカトヨム
- 一 ^十十日後ウリヤント
- 一 ^{十一}巻者 巻軸
- 一 ^{十二}富士ノ相事 口傳
- 一 ^{十三}八ノ事 傳家院ノ事

一ツカガキノ本手一傳

一富士の煙事 私家傳二年不傳
冷泉不立ト名西ノ下三注私
家ハ有家ワカシ又公前中院亞相
奉仕侍アリ有傳世用也信二
年

ノ多クワ證コニツソノニナクモ
富士烟ハ不動也多ク傳又冷泉方
ニハ不立ト云ハ先祝言ハ心
烟ハ人ノ思ヨリテタテハ心烟不立
ハ國土思ノナカレシサレ官不立
ト云ハ知テ私家有傳用トイ
カラ代ハ由村等年二雁求ハ井成
テ二年松伴ヲ西ニタツル下不
用ハサレハ冷泉不立ハセテ

知テ私家年不立ニツカセハ私ノ家
一多クワツトモハ傳云ハ煙ノ不
立ハ心ヲ思フクハト云ハ煙ハ
三ハ思フクハトハ富士ノ煙ハ
ヨシニ用ハ同序ノ詞ニカクイト
ニ不立是行世ニキコルトカカ
ハ富士ノ心ナカク傳ハカサリ
ノ思ハナク道ハタテ又下ハ
家ノ多クトクニタト二年ヨシ

世々方之事

世々方

情新 詞篇

心直 言數

弘長元年二月九日授李原(平)

三代權左衛門尉

二 再考 ウガキ

ウラニ真ヨリ心ハ代リ
作本今ウガキ傳ニウガキウラ

情動ハ以格ノ格ニヨリテハノ動アマ
ラシクナルヤ水ノ蒸物ニシテカヒテサ
レ

アノハトシキ後ニヤリニテリ
親古ハシタヤニシ付テ思キ
思ハキ通シテ思ヨ思ニ思ハキ
又ハハキニ思モアリノ思サ又
ハタニハコシス又ハハキメケモ
リカキキヨリナリハコシス又
ルハ思ハキヨソソメテ思サキ
云ナリ

己上

三 作傳 ウガキ

心ノ降古凡 初ノ先達ニテス
心ヲメシク 初ノスナリニ可キ
心ヲ物ニカセテ 和ヲ基トセヨ
思ハ物ニカメナリナリ
心ト云ナリ

古今ノ序ニツクハメヲオモハカ
ナシマラズヤリノドナリ

心ノ
ノ空ノ上ノ道ハトク
心在傳

四 道 ウガキ

百人一肩 始終古今ノサハアトモ
之云ハ向之ニ但其實オナリ

ヤメムカニ侍ラン在傳
ニ神ノ心ヲト百人ニ育始回亦在
天地未分トニ神ノ心回亦在存
代ニ執儀ノ内野ニ知トアハ物言
ラス海ニカシスナニ直ノ心
シノ心ニカシ

又野ニ知ノ心ニカシスナニ直ノ心
斗ナル心

加多 地城 生事者 下葉 古ノ心
カク 心ノ白 寒 城 孝 長ノ心 建 建
五 和 心ノ心
序曰人ニ在ニアリテ心カナルコトアハ
スソノ心アス
カ体俗心採和ヲ其心ニ作曲者

眼前ラ不失ニ海
万物心ニ起ハ良海ヲ又心ノ万物
フト又サレ時ニ又心ノ万物ニサレサレ
サカサレハ心カナル事アリ是レ心ノ和
は心ヨリ海心ニ鬼神感動ス者
思ハシ

六 **中ノ心** **一ノ心**

一ノ心之文手法ノ心ヨリ心ノ心ヲ

コノトキニキヨクイサキヨキ事ナリ 教
モシクノ法ハ執ト取ノコトシ 持
キヨクイサキヨキモハカリシニモセカガ直
心ヲトラハソカラス 正保堂下云保堂ハ
ミナモヨリナレバコノ心トハ心ニカシ

一 此書は六甲三ノ古抄本ニシテ
ス白紙上具シタルト云ヒ此別巻
ニシテ

一 此書は通ノ如し通ノ下ニシテ
抄本ト云ヒ

一 此書は通ノ如し通ノ下ニシテ
見取ニカカレテ傳ヘ抄本ト云ヒ

一 此書は通書ト云ヒ
ト云ヒコノハノユカシハオシト云ヒ
是ニヨリ通書ト云ヒ

傳ナリ

一 同書此ノ如ク傳書生抄本骨筋
子傳得書生ニ求方ト云ヒ
得書生ニシテモ一通キメ九時
ルサレニ抄本骨筋ハノ如ク
躬恒三人ノ如シ抄本ノ如ク
抄本抄本骨筋トイヒツケメ
ルヤリノ如クハノモトスリ
ニテコノハノユカシハオシト云ヒ

一 此書は少所ノ如ク傳書生抄本
傳スル

一 百人ニ首ニシテ通書抄本ト云ヒ
角ハ二見ニシテ通書抄本ト云ヒ
抄本ト云ヒ

一百人二層二逆分トテ手ノ又ハカスサ
タニリテツニコナリ又ツシノユカリ
作テラヒスル

一曰世ニ人丸ホクサトノメラヌ
衆多ニ遊回林ヲサニカニトモ

内縛所

正在傳

子ヤ記神ノヨリテモイハカヨソ
ニミヤキ 是也古物之ヲ多クセテ
ノニオラツル所古モノ内縛下
ナリ外縛ハニテ正在傳カチ今
ノ子ヤ記ツルモノ所ノ物トテ
ヤラナルセキイハリ目ヤ記今
明白ニサチ内ノ外ノ高ニ時
此花也古モノ一説モツラヌ也

位ニ正在傳ノ古モノノ子ヤ記
スルモノトス

一曰老鳥ノ子ヤ記 正在傳
子ヤ記ハ月白ニエウシモヤア
トテハ 蝶子ノヤカリノ思ハラシトテ
ハ格アリキヤラシト思フ
念スハソノシキモヤア知
けラシムテハ集ノ眼トスル
降子ヤ記トス

百人一首の逆分りてす、
たうそつこひなり又さし
作えつてん

ナシとす、
古今ノ書トおもふト多ク

一廿巻内伊豫多し中車新内

ヤトチサクリぬこれルちカメニリチ

一廿書^{ニエ}アソウチ系ニ天ノトホコチ

トス^トシぬチ下ツソコニ國カチ

トミ^シ アソウチ系トハ徳ノチナリ

天ノトホコトハ陽ノ和ニ陸陽和名

一廿書^{ニエ}アソウチ系ニ天ノトホコチ

トス^トシぬチ下ツソコニ國カチ

トミ^シ アソウチ系トハ徳ノチナリ

天ノトホコトハ陽ノ和ニ陸陽和名

一廿書^{ニエ}アソウチ系ニ天ノトホコチ

トス^トシぬチ下ツソコニ國カチ

トミ^シ アソウチ系トハ徳ノチナリ

春多 貴之
揚弓喉ニケルモ け之表理ノ
事サ之孫方肝口ニ

高世

抑ヨリモアタニ 今ノ世ニ理深可
観念ニコソ

夏多

抑奉

抑有ノ世ノ け之モ法方ノ事也
見具仁ノ町

ヤヨニテノ所ノ 是又エトシ狀
後モラ彼子モアリ又キ心又抑
人可觀之

秋多

貴之

河川流ニクモアガ け之モ法方ノ
事ト久し

高昭

院人ノ事ヲ け之物ノ不運也
乙之也

徳手ノ けろ又法方ノ事ニ
霧根 標平
ホノト けろ法方ノ事ニ
章平

カラキキ
物名 紙引

口カラビノミツコ けろ又ニ有其一
器之ニ説之
之付アリ付

足川分々ノ事 けろ法方ノ事ニ
之ろ 標平
ア又ヨノル自モト けろ法方ノ事ニ
直子

アニカル けろ又道之ニ事ナリ
儀ニ説之 けろ又法方ノ事ニ
儀傳之 知引
ヒヨリモ けろ又法方ノ事ニ
新ろ 章平

龍田は仁業の御孫也
多は國の仁業に流し菊比乃

保正四年八月十五日 壬午後
授定家和ら

信守力走は父今古海心の井液
治承三年二月九日 釋行

授カレ和ら
依任麻の五回心の學之助也 近加松
之師カ

貞應元年七月之日 二二系

授カ出和ら

松平の南帳 カ水の毒の之女尾
久和也

建長三年十二月十二日 カレ

授カ出和ら

吉の毒の之女角は

弘長元年十二月廿六日 カレ

授領和ら

和ら

元應二年七月廿二日 カレ

授賴亨抄
也系任中抄初為之天
し其の月之之今隆所
文明十年八月廿一日 常派
授平統和云
云の不思所何多子毛那志
文明十年二月十日 賴亨

傳受次第

二至家

紀成女院在傳
尤金吾 五条三品

了見在之
京極黃門 中院

私拜在之 同了見院
二条 清子 尤 賴阿

佐賀 荒部 長子

白村之跡所今 子目

女教 常縁 頼常

幸純

幸純

一當流相續事 切常存之 切常存之 切常存之

紀女在 紀女在 紀女在

頼常 頼常

内侍 女内侍カヒニヤクノ女也

但了之 但了之 但了之 但了之 但了之 但了之 但了之 但了之 但了之 但了之

女是 但了カニルア

江州 在之 持但了 又記而ノ

書ツツタフ 是モ云ハヨニス

又是カ女心 所ノ事トナルシカ也

ツツタヘテ 持カレシ 金吾南田家ノ

記 記 記 記 記 記 記 記 記 記

考チ
ニリチル心ト由ヤルルヤ
目ニシカフカク人可基ヤ侍
ナマニチマニカハシ斗不ニ有
少也

日神御事

伊特後伊母尊先大
賜是界次日神月神等生賜

有情界
是ナリ

器界ト云世修リ故ニ陽陰トツイ行

生界ト有情ナリ故ニ陰陽トツイテナリ

日神和光同塵ヨリ天地万物ニ至テ

陰ヨリ陽ト顯タリ故ニ日神ハ陰ナリ

月神ハ陽ナリ

此ニ同ナリ

海六
草薙鋤ト云此正射ハ鉄方田言ニ被納
是ラシセタニ鋤ハ三種竝内實鋤
此方際ハ赤ン所お知リル此方
所不實ムルニ事々ノニ也

九月十九日

三傑

自然母侍云々申一云世別後ガリ

品有得也

文飛夢三天八月廿日

十代生華堂子純為



